



「夏の光の中に」2001年 渡辺豊重 個人蔵

鮮やかな色彩とユーモラスな形が特徴の画家・渡辺豊重は60歳を前にした1990年、那珂川町久那瀬にアトリエを構えます。その15年後に川崎市から移住。自然と人の暮しが調和したこの里山の地で制作を始めるも、ほどなく現代社会の歪がこの町にも影響を及ぼし始めます。変化を迫られる里山に画家は心を痛め、その怒りを鬼の姿に変えて作品に登場させるなど作風は大きく変化しました。久那瀬で描かれた晩年を代表する作品を中心に展示します。

2024年度展覧会

那珂川町の画家

— 久那瀬にて 渡辺豊重遺作展 —

10月20日(日)～12月8日(日)



NAKAGAWA-MACHI
BATO HIROSHIGE MUSEUM OF ART

令和6年度(2024年)
展覧会のご案内



那珂川町馬頭広重美術館

展覧会スケジュール

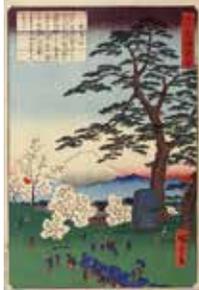
企画展

浮世絵 植物園へようこそ

4月6日(土)～5月12日(日)

花見や園芸、衣食住など、人々と植物の関わりは長く、そして深くありました。江戸時代も例外ではなく、浮世絵からその関わりを見ることができます。本展覧会では、歌川広重の花鳥画、江戸時代の園芸書や名所ガイドブックなど、浮世絵と資料から植物と人々の関わりを辿ります。

「江戸名勝図会 飛鳥山」二代歌川広重



企画展

もうひとつの源氏物語 — 修紫田舎源氏 —

5月18日(土)～6月30日(日)

平安時代に紫式部が書いた長編小説『源氏物語』は、千年もの時を経た今なお、人々に読み継がれる不朽の名作です。江戸時代には、柳亭種彦が『源氏物語』を翻案した合巻『修紫田舎源氏』を執筆し、ベストセラーとなります。この挿絵を手掛けたのが三代歌川豊国(国貞)。本展覧会では『修紫田舎源氏』やその続編をもとに描かれた浮世絵、三代歌川豊国(国貞)による「今源氏錦絵合」を中心に、江戸時代の『もうひとつの源氏物語』を紹介いたします。

「今源氏錦絵合 梅枝 四十三」三代歌川豊国



特別展

広重と国芳

前期:7月6日(土)～8月4日(日)
後期:8月10日(土)～9月8日(日)

幕末の浮世絵を牽引した最大の一派、歌川派。そのなかでも歌川広重と歌川国芳は幅広いジャンルの浮世絵を描き、多くの人を魅了してきました。二人は寛政9年(1797)に江戸の町に生まれた、いわば同じ時を生きた浮世絵師。広重は歌川豊田、国芳は歌川豊国とそれぞれ違う師から絵を学び、自身の個性やアイデアを活かした浮世絵を生み出します。同じ時代、同じ場所で創造された二人の浮世絵はどのような違い、共通点があるのでしょうか。名所絵や武者絵、戯画など複数のジャンルから二人の画業を対比させながら辿ります。

「みかけはこはみかどんだい人だ」歌川国芳



2024.4 ▶ 2025.3

特別展

浮世絵ぐるめ大集合

9月14日(土)～10月14日(月)

日本が世界に誇る文化「和食」。食は私たちが生きていく上で必要不可欠なものであると同時に、楽しみのひとつでもあります。本展覧会では江戸で評判の人気店や蕎麦など現在でもポピュラーな日本食、ちょっとマニアックな旅先の名物料理まで、食にまつわる浮世絵を通して江戸時代の人々の食の楽しみ方に迫ります。



「東海道五拾三次之内 鞆子名物茶店」歌川広重

特別展

那珂川町の画家 — 久那瀬にて 渡辺豊重遺作展 —

10月20日(日)～12月8日(日)

日本を代表する現代美術家のひとり渡辺豊重(2023年逝去)は、60歳を前に那珂川町久那瀬にアトリエを構えました。鮮やかな色彩とユーモラスな形を特徴とする画風が、里山暮しから生まれた一連の作品、現代社会の歪がこの町にも及ぼした影響への怒りから生まれた「鬼」シリーズ、東日本大震災を経て制作された「動刻」シリーズへと変化する姿を追いつつながら画家を追悼します。



「無題」渡辺豊重

公募展

那珂川町を描く — 心に残る風景 —

12月14日(土)～令和7年2月2日(日)

2023年に始まった公募展に続き、那珂川町をテーマにした絵画作品と写真作品を募集します。どなたでも応募可、小中学生も応募できます。応募作品の内、審査で入選以上となった作品が展示室で展示されます。詳しくは応募要項をご覧ください。また歌川広重等の浮世絵ミニ展覧会も同時に開催します。

令和5年度 一般の部 大賞「築打つ水音」檜山絢子



企画展

三無の人 蒐集家青木藤作と ジャーナリスト徳富蘇峰

2月8日(土)～3月23日(日)

当館のコレクションの大部分を占める「青木コレクション」は、さくら市出身の実業家・青木藤作が生前蒐集した浮世絵をはじめとする美術品と、彼が師と仰いだジャーナリスト徳富蘇峰の関係資料で構成されています。蘇峰との交流は、藤作のコレクション蒐集にどのような影響を与えたのか、収蔵品から紐解いていくと共に、藤作の県内での活動を紹介いたします。

「三無」徳富蘇峰

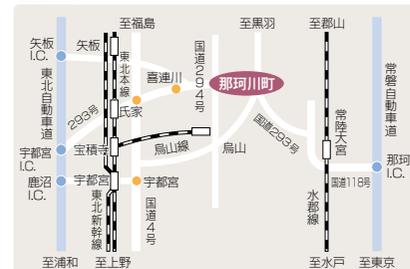


令和6年度 那珂川町馬頭広重美術館 展覧会カレンダー

2024 4							5							6						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6				1	2	3	4							1
7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8
14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15
21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22
28	29	30					26	27	28	29	30	31	23	24	25	26	27	28	29	
2025 7							8							9						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6					1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28
28	29	30	31				25	26	27	28	29	30	31	29	30					
2025 10							11							12						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
												1	2	1	2	3	4	5	6	7
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30	29	30	31				
2025 1							2							3						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
													1							
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	2	3	4	5	6	7	8
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	9	10	11	12	13	14	15
19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	16	17	18	19	20	21	22
26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	23	24	25	26	27	28	29	

■ 企画展 ■ 特別展 ■ 休館日

交通のご案内



公共交通機関をご利用の方は

- JR宇都宮線氏家駅から関東自動車バス「馬頭車庫行き」で約60分
- 「室町(旧馬頭役場前)」下車 徒歩3分
- JR烏山線烏山駅からコミュニティバス「那珂川町役場行き」で約40分
- 「室町(旧馬頭役場前)」下車 徒歩3分

お車をご利用の方は

- 東北自動車道宇都宮インターから国道293号で那珂川町へ
- 東北自動車道矢板インターから国道4号→県道74号さくら市喜連川→国道293号で那珂川町へ
- 常磐自動車道那珂川インターから国道118号→国道293号で那珂川町へ

毎月第3日曜日は家庭の日

中学生以下のお子様をお連れのご家族は観覧料が無料になります。

- 企画展観覧料=大人 500円(450円) 高・大学生 300円(270円)
- 特別展観覧料=大人 700円(630円) 高・大学生 400円(360円)
- ()内は、20名以上の団体料金
- ※中学生以下は無料 ※障がい者手帳をお持ちの方・付き添いの方1名は半額
- 開館時間=午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休館日=月曜日 祝日の翌日(祝日の翌日が土、日曜日は開館) 年末年始
- ※展示替えのための臨時休館があります。



那珂川町馬頭広重美術館

〒324-0613 栃木県那須郡那珂川町馬頭116番地9 TEL.0287-92-1199 FAX.0287-92-7177 http://www.hiroshige.bato.tochigi.jp/

